

# つなぐ

Vol.9

2016.5月

当院への循環器疾患の救急搬送件数は、  
年間約2800件。

カテーテル室は、入院患者、外来患者、救急患者の  
対応で常に稼働している。

昨年、心筋梗塞による救急搬送が3件、同時に重なった。

3名の命を救うために患者の調整を行ったが、  
どうしてもPCIを行う部屋があとつ足りなかった。

そこで即時に、アブレーションを行うカテーテル室へ  
医療機材を運び緊急対応した。

どんな状況にも対応するためには、

医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士それぞれが、  
垣根を越え、自分の役割だけでなく

周りの役割も補完し合わなければならない。

そのため私たちは、常に現状を把握し、  
緊急搬送されてくる患者の病状など、  
情報共有に万全を期している。

何よりもこの救急体制の維持には、  
地域医療連携機関による転院支援なしには語れない。

救急医療は、いくつもの職種や

地域医療との強いつながりがあるからこそ、  
24時間365日の受け入れが成り立っている。





第18回 小倉循環器内科セミナー

参加費  
無料

# 冠動脈インターベンションの 現状と今後の展望

●日時／6月17日(金) 19:00～20:30 ●場所／小倉記念病院 4F講堂

座長：小倉記念病院 循環器内科主任部長 安藤 献児 演者名：倉敷中央病院 循環器内科主任部長 門田一繁



倉敷中央病院  
循環器内科主任部長

門田 一繁

参加  
方法

6月15日(水)迄に、同封しておりますセミナー参加申込用紙に、必要事項をご記入の上、  
小倉記念病院 医療連携課までFAXにてご返信ください。医療連携課 FAX.0120-020-027



いつもの暮らしに、いつものあなた

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号

TEL.093-511-2000(代表)